

時間割コード	G1D13203	開講年度	2026				
授業題目	ドイツ語初級（総合）Ⅱ				担当教員	浜 泰子	
英文授業名	German: Elementary Level (Comprehensive Course) Ⅱ						
単位数	1	講義期間	後期	曜日・時限	水曜・2時限	対象学生	全
講義室	共通教育3 6 講義室			授業形態	実習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	【授業の達成目標】	
	大学D P 学士の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力				⇔	・ヨーロッパにおける主要な言語の一つ「ドイツ語」の基礎文法を習得し、簡単なドイツ語の文章を、読み、書き、聞き、伝えることができるようになる。（ドイツ語検定試験「3級」に合格できる程度の、総合的なドイツ語力を身につけることができる。） ・国際化が進む現代社会で生きていくために、言語を通して異文化を理解し、多様なものの見かたができるようになる。	
(2)授業で学べる「テーマ」	多文化協働						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	まず、ドイツ語の基礎文法について解説し、練習問題などにより理解を確認した上で、教科書掲載の読み物を読み解いていきます。その際、テキストの音読などを通して発音練習と発音チェックも行っています。本授業は、主に「文法」理解と「読解」が中心となりますが、適宜会話練習や作文練習なども織り交ぜながら、総合的なドイツ語力を培っていきます。また、テキストの内容に応じて、ドイツ語を話す人々の生活や文化、精神面などにも目を向けながら、ドイツ語に対する理解を深めていきます。						
(5)授業のキーワード	ドイツ語、初修外国語、文法、読解、異文化理解、グローバル感覚						
(6)授業計画	<第1～3回> Lektion 4『美術館とカフェ』（人称代名詞の3格と4格、前置詞の格支配） <第4～6回> Lektion 5『ハイキング』（前つづりを持つ動詞、話法の助動詞、未来・推量の助動詞weden） <第7回> 前半のまとめ <第8～10回> Lektion 6『ベルリン』（動詞の3基本形、過去形、現在完了形） <第11～14回>Lektion 7『ウィーンとザルツブルク』（Lektion 7-2：再帰代名詞）／Lektion 9『スイスの言語』（Lektion 9-1：受動形、9-2：zu不定詞） <第15回> 後半のまとめ、授業アンケート <第16回> 期末試験 ※教科書の扱わなかった部分については、2年次以降の教養科目「原文で読むドイツの日常と文化【EA】」で引き続き学習することができます。 本授業では、前期開講の「ドイツ語初級（総合）Ⅰ」で扱った内容の続きを、原則として3回の授業で教科書の1課を扱うペースで、進めていきます。各回の授業の流れは以下のとおりです。 ①<授業の前に> その回で学習する文法事項についての説明動画を、各自あらかじめ視聴し、簡単な準備をしておいてもらいます。 ②<対面授業で> 文法解説の後、質問や練習問題で理解度を確認、定着させた後、教科書掲載のドイツ語で書かれたテキストを読み解いていきます。その際、声に出しての発音のチェックも行います。 ③<授業の後で> 授業内容を復習し理解度を確認するための、簡単な独作課題を提出してもらいます。提出期日や提出方法はその都度お知らせします。また提出後は、教師が添削したものを返却しますので、しっかり見直して復習してください。授業内容も含めて分からないことがあったら、メールやフォーラムで質問し、すぐに解決するようにしましょう。質問やそれに対する回答は、必要に応じて、次の授業で受講者全員で共有できるようにします。 ④<各課終了後> 課末文法テストにより、教師および学修者自らがその理解度・習熟度をチェックし、その後の学修に役立てていきます。 ※「発音練習」は授業中にも行いますが、授業外においても、ネイティブ音声などを利用して繰り返し行ってください。						
(7)成績評価の方法	期末試験（30％）、課末テスト（30％）、授業後の提出課題（30％）、授業中および授業時間外学修における取り組み姿勢（10％）を総合して、合計100点満点に換算し評価します。						
(8)成績評価の基準	上記(5)の合計が60点以上の場合、授業の達成目標に到達したとみなします。 個々の評価内容、および到達レベルについては以下のとおりです。 <筆記試験（期末試験・課末文法テスト）> 教科書の例題と同レベルの問題が解ければ「水準にある」、少し応用した問題が解ければ「やや上にあ						

(8)成績評価の基準	る」，やや難しい応用問題が解ければ「かなり上にある」，難しい応用問題が解ければ「卓越している」として評価します。 ＜授業後の提出課題＞ 各回点数化して評価します。 ＜授業中および授業時間外学修における取り組みの姿勢＞ 授業における発言，発音練習，パートナー練習などにおいて，授業に真剣に取り組み，積極的に参加しているかどうか，また授業中あるいは授業時間外において，理解できたところ，理解できないところを自ら明確にし，解決の努力をしているか，問題があれば質問などを積極的にしているかどうかを評価。また，読解テキストを事前に辞書を引いて読んできてあるかどうか，自主的な発音練習の成果が見られるかどうか，で評価します。 以上のような評価を総合して，100点満点に換算し， 90点以上：十二分に，授業の達成目標の水準に達した 80点以上：授業の達成目標の水準に達した 70点以上：ある程度，授業の達成目標の水準に達した 60点以上：最低限，授業の達成目標の水準に達したとみなします。
(9)事前事後学習の内容	・事前に配信される動画は必ず視聴し，指示された準備をしておいてください。 ・指示された「読解テキスト」は，辞書を用いて予習をしてきてください。 ・授業後，学習した内容を，教科書や配布資料などを用いてしっかり復習をし，指示された課題や練習問題に丁寧に取り組むことで，理解を定着させてください。 ・復習や宿題を行っていて明らかになった疑問点や，十分に理解できなかった点については，自身で解決できない場合には，そのまま放置せず，授業の際に，あるいはフォーラムやメールなどを利用してすぐに質問するようにしてください。 ・語学習得にとって「発音練習」は最も大切なことです。各自，授業時間外においても，ネイティブ音声を繰り返し聞き，声に出しての発音練習を毎日続けて行ってください。 ※この授業は45時間の学修を必要とする内容です。従って，15時間以上の授業時間外学修が必要となります。
(10)履修上の注意	・対面授業までに，eAlpsにアップされる「授業資料」をプリントアウトして，「文法解説動画」を必ず視聴し，指示された課題をやっておいてください。また，プリントアウトした「授業資料」は，必ず対面授業に持参してください。 ・授業後にeAlpsにアップされる「独作課題」は，期日を守って必ず提出してください。 ・「発音練習」は授業内でも行いますが，授業の際に注意のあった点などを思い出しながら，授業外でも繰り返し練習してください。 ・「辞書」は，必ず授業に持参してください。 ・本授業は，前期に開講される「ドイツ語初級（総合）Ⅰ」に続いて行われる授業です。本授業を受講する人は，前期開講の「ドイツ語初級（総合）Ⅰ」も必ず受講してください。（前期開講の「ドイツ語初級（総合）Ⅰ」では教科書の前半を，本授業「ドイツ語初級（総合）Ⅱ」では，その続きを扱います。）
(11)質問,相談への対応	質問があればなるべくその場ですぐに，または授業の前後に行ってください。なお，ゆっくり質問・相談時間を取りたい方は，都合の良い日時について相談に応じますので，遠慮なく申し出てください。また，フォーラムやメールでの質問はいつでも遠慮なくどうぞ！（メールアドレス：hamay@shinshu-u.ac.jp）
(12)授業への出席	・全ての回に出席することを基本とします。 ・授業を4回以上欠席した場合，この授業の達成目標に到達することができないため，成績評価の対象外（不可）となります。 ・感染症報告システムに登録し「出席停止」と判断され，授業に出席できなかった場合は欠席とはみなしません。 ・「学修の補充の対象とする事由」（『共通教育履修案内』参照）により授業に出席できなかった場合は，欠席とします。）
(13)授業に出席できない場合の学修の補充	・「出席停止」により授業に出席できなかった場合は，健康安全センターからのメールを担当教員に転送して，学修の補充に関する指示を受けてください。（『共通教育履修案内』参照） ・「出席停止」ではなく「学修の補充の対象とする事由」（『共通教育履修案内』参照）により出席できず，補充を希望する場合は，所定の方法（『共通教育履修案内』参照）により，共通教育窓口で申請してください。（この場合は，出席扱いにはなりません）
【教科書】	若林 恵・若松宣子 他著，『Lindenhof リンデンホーフ -初級ドイツ語総合-』ISBN:978-4-255-25500-2,朝日出版社,2026年,2,640円（税込）
【参考書】	清野智昭著，『ドイツ語のしくみ <新版>』白水社,2014年 ISBN:(単行本) 978-4-560-08656-8/(電子版)978-4-560-45953-7 (単行本) 1,650円/ (電子版) 1,650円（いずれも税込） 必要や要望があれば，適宜紹介します。